

「関西広域連合広域計画」の改定について

平成 27 年 5 月 28 日

関西広域連合本部事務局

「関西広域連合広域計画」(平成 26 年度～28 年度)について、関西における生涯スポーツの振興と元気で活力のある健康長寿社会の実現、スポーツツーリズムを通じた地域の活性化に向け、広域的な視点に基づいたスポーツ振興を推進するため、改定することとし、前回の連合委員会において改定案(別紙)を了承し、パブリックコメントを実施することを決定した。

その後、平成 27 年 5 月 1 日から 5 月 21 日までパブリックコメントを実施したところ、2 名・25 件の意見・提案があった。

これらについては、いずれも事業実施にかかるものであり、今後の広域スポーツ振興ビジョン(仮称)の検討において考慮すべき意見等であったため、前回は承していただいた改定案のとおりとし、連合議会に諮っていく。

(提出があった意見・提案)

番号	意見・提案
1	・関西広域連合本部事務局が主体となって「フレスコボール」の関西広域連合構成府県内での普及促進を行う。
2	・関西広域連合本部事務局が主体となって「サイクル・スポーツ」によるスポーツ・ツーリズムを推進する。 ※ 「ツールド・にし阿波」
3	・関西広域連合本部事務局が「株式会社コナミスポーツ&ライフ」と「スポーツ振興に関する連携協定」の締結を行う。
4	・関西広域連合本部事務局が「森林浴療法」と「温泉浴療法」とを組み合わせた「温泉森林浴セラピー」を推進する。
5	・関西広域連合本部事務局が「平成 27 年第 70 回紀の国わかやま国民体育大会 2015」「平成 36 年第 79 回滋賀国民体育大会 2024」の開催を応援する。
6	・関西広域連合本部事務局が関西広域連合の構成府県の各 J リーグチームを対象に「バトル・オブ・関西広域連合」の設定を行い、関西広域連合地域で応援する。 ※ J1 リーグ⇒「ガンバ大阪」,「ヴィッセル神戸」 ※ J2 リーグ⇒「徳島ヴォルティス」,「セレッソ大阪」,「京都サンガ FC」 ※ J3 リーグ⇒「ガイナーレ鳥取」 ☆全国の例「バトル・オブ・九州」
7	・関西広域連合本部事務局が主体となって「2019 年ラグビーワールドカップ日本大会」の開催を機会に、ラグビーの「ノーサイド」のスポーツ文化の普及促進を行う。 ※ 松任谷由美の「ノーサイド」
8	・関西広域連合本部事務局の主催で「2019 年ラグビーワールドカップ日本大会」の開催を機会に、関西広域連合の構成府県内の高等学校のラグビー部を対象に「関西広域連合・高校ラグビー選手権大会」を開催する。
9	・関西広域連合本部事務局が関西広域連合の構成府県内で開催される「とくしまマラソン」,「大阪マラソン」,「京都マラソン」,「神戸マラソン」,「鳥取マラソン」によるスポーツ・ツーリズムの地域活性化を行う。 ※ 関西広域連合に奈良県が参加の際には、「奈良マラソン」によるスポーツ・ツーリズムの域活性化を行う。

10	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局の主催で 関西広域連合の構成府県の持ち回り方式による「関西広域連合・関西広域住民体育大会」「関西広域連合・関西広域ねんりんピック健康福祉祭」を開催する。
11	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ・ツーリズムによる地域活性化の取組として関西広域連合本部事務局が以下の事業を推進する。 ・徳島県三好市の「吉野川ラフティング（大歩危・小歩危コース）」 ・徳島県美波町の「シーカヤック」 ・徳島県海陽町の「サーフィン」
12	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局が大阪体育大学、天理大学体育学部と「スポーツ振興に関する包括的連携協定」の締結を行う。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局が主体となって関西広域連合の構成府県内に「阿波踊り体操」の普及促進を行う。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局が「関西広域連合スポーツアドバイザー」の任命を行う。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局が主体となって「関西広域連合版チャレンジデー」を開催する。 ※ 関西広域連合の構成府県内の人口規模がほぼ同じの市町村の住民同士が規定時間以内に 15 分以上継続して運動やスポーツを行った参加率を競い合う大会
16	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局の働きかけで、 関西ステップアップリーグに徳島ヴォルティス、ガイナレ鳥取が参加できるようにする。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局の働きかけで、 関西ステップアップリーグの試合会場に「四国大学しらさぎ球場」にする。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局が「2019 年ラグビーワールドカップ日本大会」開催の際には「四国大学しらさぎ球技場」、「徳島市入田球技場」が合宿練習会場にする。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局が 健康の保持増進を目的に関西広域連合の構成府県内の住民を対象に「競歩」、「ノルディック・ウォーク」、「スロウオーキング」を推奨する。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局が 阿南市役所の野球のまち推進課の「野球のまち・あなん」のスポーツ・ツーリズムの取り組みをモデルケースにする。 ※ 大阪市立大学野球部が野球合宿を行う。 ※ 春の全国選抜高校野球大会で優勝した敦賀気比高校が野球合宿を行う。 ・関西広域連合本部事務局の主催で「徳島インディゴソックス」対「阪神タイガース」（二軍）との練習交流試合を行う。 ・関西広域連合本部事務局の主催で徳島インディゴソックス」対「オリックス・バファローズ」（二軍）との練習交流試合を行う。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局が主体となつて 関西広域連合の構成府県内の公立の小学校、中学校、高等学校の運動会や体育祭の児童生徒の入場行進の時には「東京オリンピック・マーチ」（1964 年）を流す。
22	<ul style="list-style-type: none"> ①すべての県が海に接しているので、スポーツフィッシングを持ち回りで開催し、海に関心を持てるようにする。 ②すべての県を網羅するツーリングスポーツを開催する。 ③各県が年ごとに持ち回りで野外彫刻展を開催する。 <p>これらを具体的に開催する中で連帯と課題また希望が生まれてくると思う。</p>
23	<p>広域観光・文化振興に「スポーツ振興」を追加した事は高く評価したい。東京・首都圏が 2020 年にオリンピック及びパラリンピックを誘致して内閣を挙げて推進している事に比べて、関西広域連合が関西ワールドマスターズゲームズ 2021 を大目標として推進する事で一人でも多くの広域連合住民が積極的にスポーツ（生涯学習として自発的）参加者となる事はよろこばしい。大阪府・大阪市が「費用対効果」などを理由として開催に消極的なのはいただけない。「都構想」などと称する税金と時間のムダ使いを止めて、関西広域連合住民が自発的に積極的にそれぞれの立場から参加できる広域観光・文化・スポーツ振興戦略を確立することが急務である。近いうちに起こりうる東南海トラフ地震津波の防災減災対策にも「新・稲むらの火」と言うべき全員参加の手法の確立一工夫創意が求められる。住民自ら望んで行う広域行政を。</p>
24	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局が文部科学省のスポーツ庁と連携を推進する。
25	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合本部事務局が健康の保持増進を目的に関西広域連合の構成府県の住民に「スロウオーキング」を推奨する。

関西広域連合広域計画（改定案）

2 広域観光・文化・スポーツ振興

（スポーツ振興）

関西ワールドマスタースゲームズ 2021 の開催を契機とする生涯スポーツの気運の高まりを継続的なものとするため、関西における生涯スポーツの振興による元気で活力のある健康長寿社会を実現し、スポーツツーリズムを通じた交流人口の拡大、定住促進などの地域の活性化を強力に進める必要がある。

このため、広域スポーツの振興について、以下の重点方針に基づき取り組む。

<重点方針>

（１）「広域スポーツ振興ビジョン（仮称）」の策定

広域連合として取り組むべきスポーツ振興施策を明確にし、ライフステージに応じたスポーツ活動を振興するため、関西が一体となった取組の方向性を示した「広域スポーツ振興ビジョン（仮称）」を策定する。

（２）関西における広域的、国際的スポーツ大会の招致及び開催支援

関西ワールドマスタースゲームズ 2021 や関西マスタースポーツフェスティバルなど、関西における広域的、国際的なスポーツ大会の招致及び開催に向けた国への財政支援要望や広報活動を行う。

（３）国際スポーツ大会キャンプ地等の誘致支援

東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ 2019 など国際スポーツ大会の事前キャンプ地等の誘致支援を行う。

【構成団体が行う事務】

「広域スポーツ振興ビジョン（仮称）」を共有し、広域連合の一員として一体的な取組を展開するとともに、各地域で開催する事業等については、引き続き構成団体が行う。

8 その他広域にわたる政策の企画調整等

（１）広域にわたる政策の企画調整

1～7に定めるもののほか、第4に定める「広域連合が目指すべき関西の将来像」の実現に向け、構成団体の協力の下、関西を生涯スポーツの先進地域として発信する関西ワールドマスタースゲームズ 2021 や関西マスタースポーツフェスティバルへの支援など、関西全体として取り組むべき広域にわたる行政の推進に係る基本的な政策の企画及び調整に関する事務を引き続き積極的に行う。

（参考）スケジュール

平成27年6月 連合議会（全員協議会）に改定案を報告

平成27年7月 成案を連合議会（7月臨時会）へ上程